

平成27年3月14日通常理事会。  
東神田の書道芸術院事務所にて開催。  
概要報告。

●議案第1号

平成27年度公益財団法人書道芸術院事業計画について  
左記概要のとおり、平成27年度事業計画は承認された。

概要

平成27年度公益財団法人書道芸術院事業計画

I 事業の状況

1 「公1」「書」に関する展覧会の開催  
「書」に関する展覧会については、本年度は以下のような事業を実施する。

(1)第69回書道芸術院展

(併催 第67回全国学生書道展)

第69回書道芸術院展

1)会期 平成28年2月17日(水)  
2月21日(日)

2)会場 上野 東京都美術館

3)募集規定  
前回(第68回展)と同一規定で実施する。

(詳細は8月末発行予定の規定を参照)

併催 第67回全国学生書道展

1)会期 平成28年2月17日(水)

2月21日(日)  
東京都美術館

2)会場 上野  
3)募集規定  
前回(第66回展)と同一規定で実施する。

(詳細は6月末発行予定の規定を参照)

(2)書道芸術院秋季展

併催書道芸術院推薦作家展

1)会期 平成27年10月6日(火)  
10月11日(日)

2)会場 セントラルミュージアム銀座  
(紙パルプ会館5階)

3)出品者 アートサロン毎日(竹橋)

A. 名誉会員、参与会員(選抜)

B. 財団役員他

C. 審査会員選抜作家

D. 推薦作家

E. 審査会員候補(公募)

◎褒賞 秋季菊花賞(若干名)  
秋季俊英賞(若干名)

4)出品料

A. 3万円 B. 7万円

C. 5万円 D. 5万円

E. 鑑別料 2点まで5千円  
(1点でも5千円)

入賞者は出品料 3万円

5)出品締切り 平成27年8月7日(金)

6)公募作品審査 平成27年8月27日(木)

7)陳列 平成27年10月5日(月)

8)表彰式・研究会 平成27年10月6日(火)

9)祝賀会 平成27年10月6日(火)

10)担当常務理事 小竹 石雲

11)実行委員長 種谷 萬城

2 「公2」「書」に関する人材養成

「書」に関する人材養成については、本年度は以下のような事業を実施する。

(1)月例競書、昇級試験

幼稚園児、小学生、中学生及び一般を対象に月例競書、春秋2回昇級試験を実施する。例題及び結果は「書」に関する出版物の刊行」事業の月刊「書道芸術学生版」、「書道芸術」に掲載する。

(2)「書」に関する講習会、講演会の開催による普及活動

「書」に関する講習会、講演会の開催による普及活動については、本年度は以下のような事業を実施する。

(1)平成27年度書道芸術院講習会

1)開催時期 平成27年8月22日(土)、23日(日)

2)開催地 宮城県 秋保

3)受講対象者 本院会員及び一般書道愛好者

4)主管 東北総局 後藤 大峰 総局長

5)講師 漢字 稲垣 小燕

かな 大辻多希子

現代詩文書 小竹 石雲

篆刻・刻字 清水 翠徑

前衛書 田守 光昭

原拓書道史 種谷 萬城

書写教育 牧 泰濤

院史 辻元 大雲

(実技あり)

(2)講演会の開催

1)時期 平成27年11月23日(月)・(火)  
(書道芸術院 創立記念日)

2)会場 東京上野 精養軒

3)参加者 本院会員及び一般公開

4)講師

(公社) 創玄書道会理事長 石飛 博光 先生

3 「収1」「書」に関する出版物の刊行

「書」に関する出版物の刊行については、本年度は以下のような事業を実施する。

(1)月刊「書道芸術」

「書」に関する調査研究、書の月例競書作品、昇級試験の応募要領、結果等を載せた機関誌を発行する。

編集長 辻元 大雲

編集担当者 前田 龍雲

(2)月刊「書道芸術学生版」

幼稚園、小学生、中学生の月例競書作品、昇級試験の応募要領、結果等を掲載した学生への「書」の普及を主とする機関誌を発行する。

編集長 辻元 大雲

編集担当者 三浦 鄭街

4 「他1」「書」の海外展開への支援

本年度は以下のような事業を支援する。

(1)ウィーン展とワークショップ

1)会期 実施予定(未定)

2)会場 在オーストリア日本大使館

在オーストリア日本大使館

日本広報文化センター

(2)その他本院の目的を達成するために必要な事業

- 1)事務効率改善
- 2)ホームページの運用
- 3)総局・支局による「書」の展覧会の開催、普及活動
- 4)他の団体が行う展覧会への出品の支援等
- 5)その他

●議案第2号

平成27年度公益財団法人書道芸術院収支予算・資金調達及び投資の見込みについて

秋季展の審査員の数について質問があったが、秋季展のあり方等、新年度内に検討することで、左記概要のとおり、平成27年度収支予算・資金調達及び投資の見込みは承認された。

審議事項

1)書道芸術院企画委員会の設置及び委員の選任について

書道芸術院企画委員会設置の趣旨

書道芸術院の将来の在り方を展望し、各種事業内容の検討、新規事業企画などにつき各部および総局・支局のバランスを考慮して、原則財団役員・院展参与会員以上を除く中堅・若手作家若干名を企画委員として理事長が委嘱する。任期は2年とし、会議は年2回程度開催する。企画委員会の運営は当面下谷洋子常務理事が担当する。

総局、支局、部門等を考慮し、下記の通り企画委員会委員が選任された。

書道芸術院企画委員会・委員一覧

前衛	篆刻・刻字	現代詩文	かな	漢字
工藤永翠	大沼樵峰	武山櫻子	九條純代	佐藤菜扇
知野洛水		大隅晃弘	見越雪枝	小浜桂雪
大嶋珀暉		大平邑峰		崎井恵風
佐々木浩子		北嶋善湖		生田翠龍
				川村美泉
				児玉船光

2)人事案件について

11月の理事会からこれまでの復帰者、移籍者、退会者、逝去者及び、規定による昇格者について報告された。

◇審査会員昇格者 12名

- 安藤麗華(漢) 一森琴映(漢) 小川白柳(漢)
- 衣田琴草(漢) 福留千代華(漢) 堀田白扇(漢)
- 目良珠山(漢) 仙場美枝子(和) 都丸みどり(和)
- 古谷天岳(漢) 宮本紅雪(漢) 大庭幸石(和)

◇復帰者 4名

- 審査会員候補
- 小林梓雪(漢)
- 無鑑査

石橋翠峰(漢) 篠崎游華(漢) 江口文江(和)

◇移籍者 2名

- 審査会員 総務 千葉四帆
- 前衛書部から現代詩文書部に移籍
- 無鑑査 示野紅遠
- かな部から現代詩文書部に移籍

◇退会者 66名

- 審査会員 4名
- 審査会員候補 18名

・無鑑査 44名

◇逝去者 3名

- ・無鑑査
- 現代詩文書部 安藤四節
- 平成26年8月28日逝去(享年89才)
- 漢字部 片山寒桜
- 平成27年1月29日逝去(享年70才)
- ・審査会員候補
- 前衛書部 綿貫智子
- 平成27年1月28日逝去(享年24才)

報告事項

①平成27年度単位認定講習会について(別項参照)

②秋季展審査員について

秋季展審査員については、下記の通り7名の審査員が決定した。  
辻元大雲 大野祥雲 小竹石雲  
下谷洋子 種谷萬城 後藤大峰  
田守光昭

③秋季展要項について(別項参照)

④第67回全国学生書道展の審査員について  
第67回全国学生書道展のA賞審査員について、6名の審査員が決定した。  
辻元大雲 大野祥雲 小竹石雲  
下谷洋子 小浜大明 小伏小扇

⑤創立記念日の講演会講師について(別項参照)

その他

◎理事長から、第67回毎日書道展の実行委員長を務めるため、協力依頼。全日本書道連盟、他、各書道団体の状況について、情報提供。

◎「書写・書道教育推進基金」設置の

報告並びに基金に対する協力をお願いについて

先般ご協力いただいた「書写・書道教育推進」に向けて署名活動を行った「書写・書道教育推進協議会」より「書写・書道教育推進基金」の設置及び、協賛基金への協力要請が本院へ寄せられた。

所属会員×500円を基準として基金を拠出。納入期限 27年5月末まで。本院正会員(審査会員候補以上)在籍人数 2月末現在 約150名  
上記金額を平成26年度会計準備費より支出することを理事会にて決定し、執行した。

4月より昇格者が見込まれるが26年度会計として支出するためご理解いただきたい。

この基金協力は全国の書道団体へ呼び掛けられ、総額300万円を目標とし書写・書道教育推進のための各種活動費、研修費などに充てられることになっている。

◎参与会員、常任総務、総務の推薦について

各総局支局長がとりまとめ推薦し、常務理事会で検討の上、5月16日開催予定の理事会で決定する。

◎事務局体制の変更について  
4月より事務局長千葉蒼玄から前田龍雲に交代する。

書道芸術編集担当は前田龍雲から倉林紅瑤に交代する。  
その他は現状通り。今後共ご協力くださるようお願いいたします。

以上の報告があった。